



地域連携室だより

第 21 号（平成 30 年 9 月発行） 君津中央病院 地域医療センター

センター長挨拶

地域医療センター長 八木下敏志行

6月7日、パーキンソン病について講演をさせていただきました。右の写真はその時の様子を撮ったものです。定員をはるかに超える申し込みをいただきました。そのため今回参加できなかった患者とご家族の皆様には12月5日に再度講演をすることになりました。



君津健康福祉センター主催の「パーキンソン病の患者と家族のつどい」で出張講演するセンター長

パーキンソン病は、iPS 細胞や遺伝子治療などの新しい治療で話題になっており、関心が高いと思われます。まだこれから治験が始まるという段階ですが、大きな期待が寄せられています。今後は他の難病にも応用され、新しい治療法の柱になる可能性があります。患者さんには福音になると思います。

がんパスの紹介（2）

医務局 外科 / 地域医療センター 地域連携室

第 19 号で紹介しました千葉県共用がん診療連携パス（以下「がんパス」といいます。）の第2弾です。今回は、当院が平成 22 年から運用しているがんパスに対して、地域の連携機関の先生方に実施したアンケート結果を紹介しました。この結果、がんパスの受入れは、概ね良好であることが分かりました。

さて、今回は、これまで連携機関と当院でがんパスを利用してきた患者に対してアンケートを実施し、がんパスに対する印象等を伺いました。その結果は、3ページに示すとおりで、「かかりつけ医と当院による併診という体制の印象は？」で「不安が残る」が 5.9%、「併診による診察・検査の印象は？」で「やや不満」「不満」が併せて 8.6%、「診療経過表の印象」で「あまり良くない」「分かりにくい」が併せて 9.0%、「併診による体制は今後も続けた方がよろしいですか？」で「続けない方がよい」が 2.9%と若干の不評回答もいただきましたが、多くは、「安心感があり」、「満足して」、「役に立って」いたという好評回答でした。

そして、前回と今回の両アンケートの結果から、がんパスは、連携先の先生方にとっても患者にとっても有用なツールであることが分かりました。



当院は、君津保健医療圏の基幹・中核病院です。医師数は全国第 45 位という千葉県の中、更に医師数は 9 つの二次保健医療圏中第 8 位という当地域で、どのようにしてがん患者を支えていくか？私たちは、地域の先生方と共にその答えを求めてがんパス等を活用しながら日々の診療にあたるのが使命だと思っています。



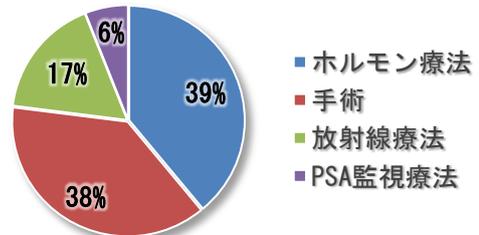
■泌尿器科診療を開始して

2016年4月1日に当院泌尿器科の常勤医として赴任しました河合正記です。地域の先生方には、日頃患者を紹介いただき大変お世話になっています。赴任当初からの常勤医4名+非常勤医1名の5人体制は、現在も維持していますのでご安心ください。今回は、2年間の治療成績から地域の前立腺がん事情を報告したいと思います。

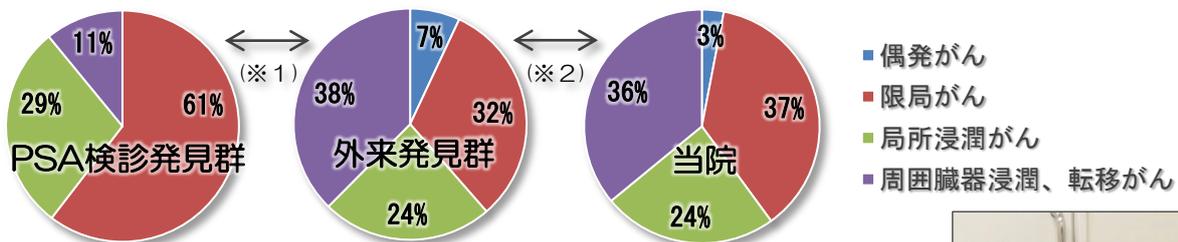
■地域の前立腺がん事情

私が赴任してから新規に前立腺がんとして治療した患者は、2年間で261人いました。平均年齢は75歳、初診時のPSAは358ng/mlとかなり高値で、がんのステージもD——他がんでいうところのステージIV、つまり転移がんが多いのが特徴的でした。そのせいか、一般的には、前立腺がんは進行が遅いと言われていたのですが、わずかこの2年間で12人が死亡しました。この間、当院で実施した前立腺がんの治療方法は、転移がんに対するホルモン療法（化学療法）が一番多く、次いで手術、放射線療法、PSA監視療法という順でした。

項目	平均（範囲）
患者数（人）	261
年齢（歳）	75（55-94）
初診時PSA（ng/ml）	358（3.8-26000）
ステージ	A：9例 B：96例 C：63例 D：93例
癌死	12



泌尿器科医の間では周知事項ですが、PSA検診で前立腺がんが発見された場合と、通常の外来で排尿障害等の症状を契機に調べたところ前立腺がんが発見された場合とを比較すると、転移がんの発見は、約3倍の割合で外来発見群の方が多くなっています。前立腺がんは、理想的には限局がんの状態で見ると根治可能なのですが、PSA検診発見群と比較すると外来発見群では限局がんの発見率は約半分に減ってしまいます（※1）。そして、当院での2年間の治療成績は、あたかも判で押しただかのように外来発見群と一致していて、実に4割近くを転移がんが占めていました（※2）。



（伊藤一人：泌尿器外科，13（8）：997-1001，2000より改変）

■今後の課題について

以上のことから、PSA検診の必要性が高いことは明白です。現在、当地域ではPSA検診を実施していませんが、前立腺がん患者が2か月に1人の割合で死亡しているという事情は、地域全体の課題としてその対策を講じる必要があるかと思えます。

（泌尿器科 河合正記）

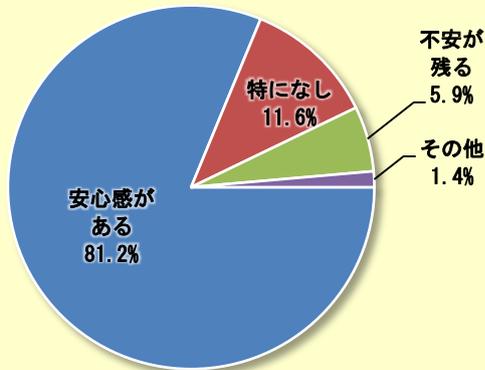


(1 ページから続く)

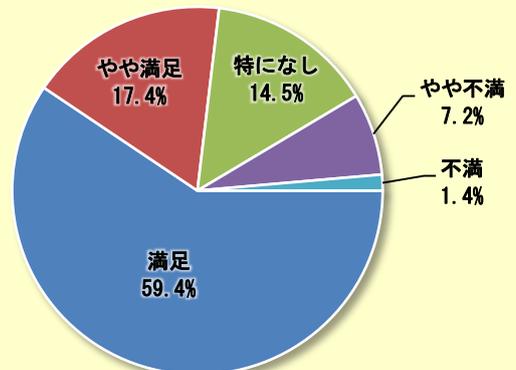
■千葉県共用がん地域医療連携パス運用に係るアンケート結果

アンケート実施期間 平成 29 年 7 月 13 日 (金) ~ 8 月 10 日 (金)
がんパス対象患者 98 名に宛てて実施。(回収率 70.4%)

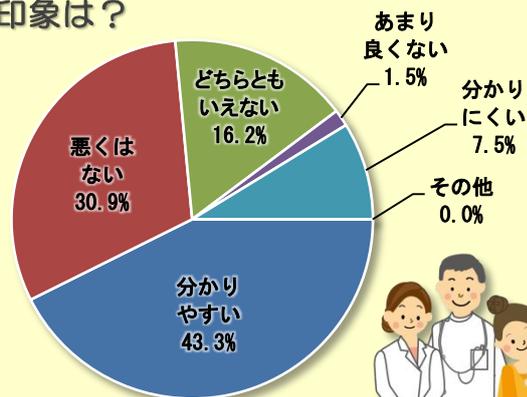
問1 かかりつけ医と当院による併診という体制の印象は？



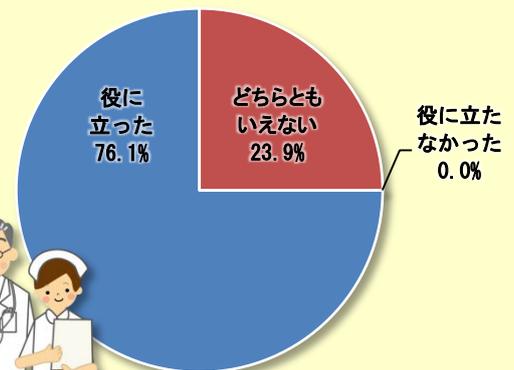
問2 併診による診察・検査の印象は？



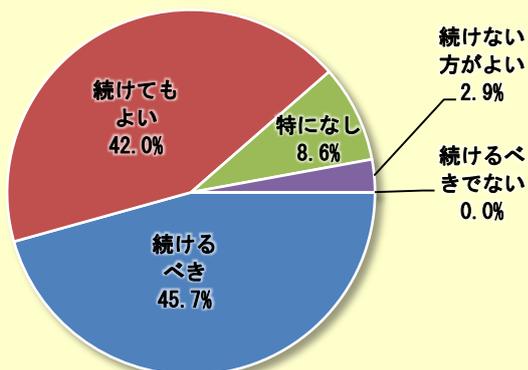
問3 連携パス「診療経過表」の印象は？



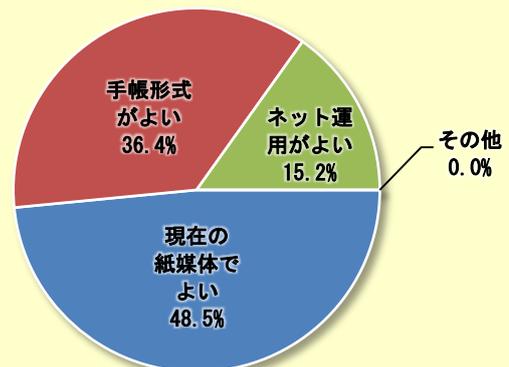
問4 連携パスは、今後の診療内容(予定)の理解に役立ちましたか？



問5 併診による連携パス体制は、今後も続けた方がよろしいですか？



問6 連携パスの今後の運用方法は？





事業報告



■地域の医療従事者向け研修等

- 5月11日(金) 平成30年度 第1回君津地域
リハビリテーション連絡協議会
及び地域リハ・パートナー会議 [圏域リハビリテーション関係者]
- 5月16日(水) 君津圏域小児リハビリテーション連携の会 [圏域リハビリ関係者]
- 5月29日(火) 平成30年度大腿骨頸部骨折地域連携パス合同会議 [連携機関]
- 6月1日(金) 第25回かずさ創傷スキンケアセミナー [圏域医療・介護関係者]
- 6月14日(金) 第49回上総がんフォーラム [医師会会員等]
- 6月16日(土) 第12回君津地域訪問看護つなぐ会 [圏域訪問看護関係者]

■出前講座

- 5月29日(火) 健康寿命を延ばすカギ(理学療法士) [君津市生涯学習交流センター]
- 6月8日(金) 栄養バランスの良い食事とは(管理栄養士) [木更津市鎌足公民館]
- 6月21日(木) 色覚検査と学校での対応について(視能訓練士)

[君津市生涯学習交流センター]



- 6月27日(水) 喫煙について(呼吸器外科医師) [君津市立周西南中学校]
- 6月28日(木) お口の健康を守りましょう(歯科衛生士) [君津市立松丘小学校]
- 7月4日(水) 健康寿命を延ばすカギ(理学療法士) [君津市立清和公民館]
- 7月11日(水) 喫煙について(呼吸器外科医師) [君津市立周西中学校]
- 7月12日(木) 減塩の大切さ(管理栄養士) [君津教育会館]
- 7月18日(水) 喫煙について(呼吸器外科医師) [君津市立亀山中学校]



研修等のお知らせ

- 9月13日(木) 第50回上総がんフォーラム [医師会会員等]
- 9月30日(日) 第9回君津圏域公開フォーラム [市民・医療関係者・介護関係者]
- 10月19日(金) 第26回かずさ創傷スキンケアセミナー [圏域医療・介護関係者]
- 10月24日(水) 君津木更津消化器病研究会 [医師会会員等]



(地域の医療従事者向け研修、出前講座及び地域連携室だよりに関する問合せは、地域連携室へ。)



発行：〒292-8535 千葉県木更津市桜井 1010 番地

君津中央病院企業団 国保直営総合病院 君津中央病院
地域医療センター 地域連携室 TEL 0438-36-1071